西暦 2026 年 10 月 1 日

間質性肺炎と慢性閉塞性肺疾患に対して
在宅酸素療法の治療を受けた患者さんへ

【間質性肺炎と慢性閉塞性肺疾患を合併した在宅酸素療法患者の予後調査とアドバンス・ケア・プランニングについての研究へのご協力のお願い】

1. 研究の対象

2017 年 1 月 1 日～2023 年 3 月 31 日に在宅酸素療法の治療を受けた患者さん

2. 研究目的・方法・期間

上記の期間に当院にて在宅酸素療法の治療を受けた患者さんを対象とし、在宅酸素療法導入後の予後とアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の状況を調べることを主な目的としております。診療記録を基に、間質性肺炎と慢性閉塞性肺疾患が原因で在宅酸素療法を開始した患者さんの予後と ACP の評価を行います。

研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

研究期間：2026 年 10 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

この研究は、松山赤十字病院の医療倫理委員会にて審査及び承認され、病院長の許可を受けて実施するものです。また、松山赤十字病院の研究費で行っており、特定の企業・団体等から支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、研究に関するご質問や相談等ありましたらお問合せください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液、毛髪、唾液、排泄物、検査データ、診療記録等を対象とします。

医療サービスの提供時に取得した試料・情報及び過去に研究を目的に取得した試料・情報を利用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、試料・情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません。

5. 個人情報の取扱い

利用するデータは、匿名化または符号や番号を付することを行い、個人が特定されないようにします。

この研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはありません。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

6. 研究組織

研究代表機関(試料・情報の管理)	日本赤十字社　松山赤十字病院
研究代表者	呼吸器内科　医師　牧野英記
研究責任者	同上
研究分担者	呼吸器内科 医師　梶原 浩太郎、兼松 貴則

7. お問合せ先

今回の試料・情報の利用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので下記までご連絡ください。その場合でも今後の治療などに影響することはございません。

日本赤十字社　松山赤十字病院　呼吸器内科　職名　医師
研究責任者：牧野英記
TEL：089-924-1111㈹　FAX：089-922-6892㈹